

第8章 各種の活動と取組

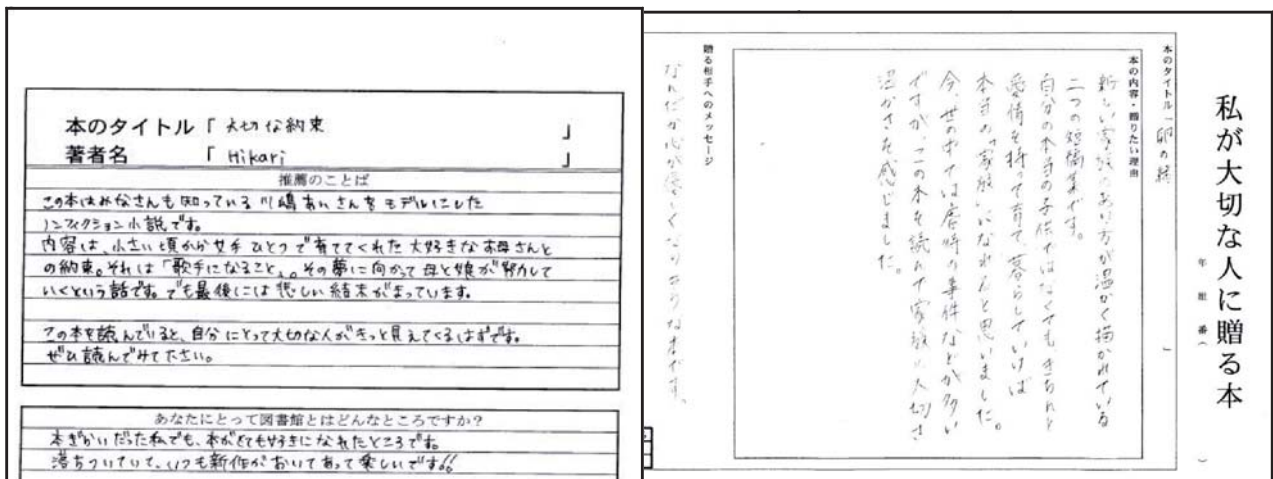
児童生徒が読書に親しむことができるよう、各校とも様々な活動に取り組んでいます。

1 全校一斉の読書活動

宇都宮東高校・附属中学校では、8時30分から8時40分の時間帯で、朝の読書の時間を設けています。日課に位置付けられた取組ではありませんが、ほとんどの生徒が主体的に取り組んでいます。宇都宮商業高校でも朝の読書に取り組んでおり、副担任がその指導に当たっています。聾学校では、帰りの会の際に、毎日10分間程度の読書の時間を設けています。

2 教科との連携

日光明峰高校では、国語科の授業で生徒が書いた本の紹介文をファイルして、学校図書館で閲覧できるようにしています。



「私が友達に薦める一冊の本」(明峰高)

「私が大切な人に贈る本」(明峰高)

小山西高校では、国語科の授業で生徒が書いたポップを、学校図書館や廊下に掲示しています。家庭科の「保育」の授業では、絵本についての学習をしています。また、家庭科で購入した大型絵本を、小学校での読み聞かせの活動で活用しています。

大田原女子高校では、国語科の授業で行ったブックトークに関するコーナーを、学校図書館内に設けるとともに、ブックトークで紹介した図書について生徒が書いたポップを掲示しています。また、国語科の授業で生徒が書いた読書レポートをファイルして閲覧できるようにし、読書案内として役立てています。

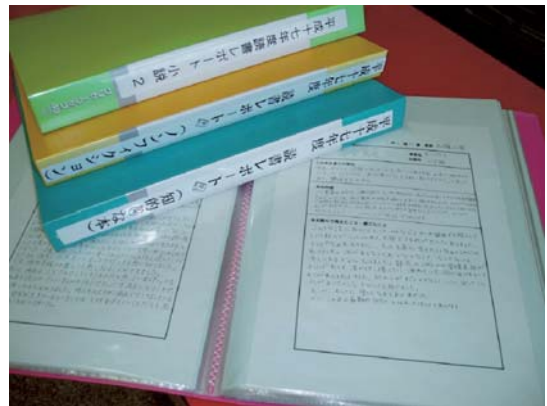
*大田原女子高校のブックトークについては、「第4章 8 ブックトークに使用した図書のコーナー」で紹介しています。



『舞姫』のポップ(小西高)



ブックトークとポップ(大女高)



読書レポート(大女高)

聾学校では、児童が校外学習で採集したザリガニを、水槽に入れて廊下で飼育しています。教室には生き物に関する図書を表紙が見えるように置いて、教科の学習との関連を図っています。



ザリガニと、教室に置いた生き物に関する図書(聾校)

3 ブックトーク

栃木翔南高校では、「翔南ブックトーク」と題して、図書委員を中心にした生徒と教職員を対象に、教師によるブックトークを年に3回行っています。ブックトークをする教師の人选や交渉は、図書委員が進めます。ブックトークに参加した生徒の感想の一部は、図書館だよりや図書館報に掲載されます。第4回(平成20年10月)では、「武士道シックスティーン」(写真)、「DIVE」、「こころ」を紹介しました。



ブックトーク(翔南高)

*この他、茂木高校のブックトークについて、「第1章 3 オリエンテーションでブックトーク」で紹介しています。

4 読書会

大田原女子高校では、校内での読書会を年に2回開いています。図書の選定から、ポスターや図書館だよりでの広報、当日の運営まで、図書委員が主体となって進めます。

図書は授業でも使えるように、同じものを40冊そろえています。



読書会のポスター(大女高)



40冊ずつそろった読書会用の図書(大女高)

真岡女子高校では、真岡高校との合同読書会を毎年開いています。主催校は両校の持ち回りになっています。読書会に使用する図書は、主催校が夏休み前に決定し、参加者は宿題として事前に読んでおきます。真岡女子高校では、読書会用の図書を、参加する図書委員と教員分の、合計40冊そろえています。

第 53 号 平成20年(2008) 3月 3日 (4)

第10回 真高・真女高 合同読書会開催

一人一人は違うんだ

一年六組 読書 読書委員 読書委員

私、私は、この合同読書会で字んどこがいくつかあります。

一つは、本を作者や、登場人物の気持ちをよく考えて読むことの大切さです。いろいろと考えることができるんではないかと、私も自身も成長で

先達はずーい

一年四組 読書 読書委員

私、私は合同読書会をすごく面白かったです。発表するのは苦手だし、全然楽しそうなお事だと思わなかったから、当日までだいたいが白ちががあったのですが、本を読んだ後には、おもしろい事だと思えました。特に真女の先輩方は、話し合いに積極的に参加して、自分はこの行事に対して真剣に取り組んでいたかな、と反省しました。

また、一つの課題についても、読み方によって、様々な感じ方があって、それを聞けたりは面白かったです。自分はずっと面白いと思っていた所が、他のとらえ方を知ると面白いと思える事があって新鮮な感じが良かったです。

「一つ目は、本について、いろいろな人々の意見を聞くことができ、さまざまな見方考え方があったので、いろいろと勉強になりました。同じ本を読んだのに、それぞれが感じることや持っている意見が違っていたので、人は一人一人違うんだと改めて知りました。私はこれからも、本をたくさん読んでいこうと思います。」

共通のテキストを読み感想や考えを述べる。さまざまなものの見方を知れる。そうすることで視野を広める。読書会の目的はシンプルだが、その実現は難しい。今年の合同読書会は、9月12日(日)、真高記念館で行われる。今回の合同読書会「リトル・バイ・リトル」。

話合いのテーマは、

- ・「リトル・バイ・リトル」というタイトルにはどんな意味があるのだろうか。
- ・このあと二人はどうなるだろうか。
- ・「風」と「ふみ」はなぜ書かれたのだろうか。

などいろいろであった。テーマを考えたことや準備が進められ、テキストは夏休み中に生徒のみならず先生も読むことができるようにしました。想像以上に大変な行事ですが、参加した人たちにとっては、本を読むということの意味はもちろん、自分の意見を述べることに加え他人の意見を聞くということの大切さを学んだものと思われれます。

真高・真女高合同読書会(真女高)

宇都宮女子高校では、PTA図書委員会の主催で、保護者、図書委員、教員が参加する「親と子の読書会」を開いて、世代を超えた読みの交流を行っています。読書会用に選んだ図書の著者との間に交流が生まれることもあり、生徒にとって貴重な体験の場になっています。



親と子の読書会(宇女高)

5 教養講座

宇都宮高校や日光明峰高校では、講師を務める教師が、自身の専門分野や趣味に関する内容を参加する生徒に語って聞かせる催しを開いています。この催しを、宇都宮高校では「談話会」、日光明峰高校では「図書館講座」と称しています。



「図書館講座」の記録(明峰高)



「図書館講座」の様子(明峰高)

6 読書へのアニメーション

宇都宮東高校・附属中学校では、中高一貫校としての初年度に当たる平成19年度、図書委員の高校生と中学生と一緒に参加する催しで、「読書へのアニメーション」を実施しました。アニメドールは、総合教育センターから招いた講師が務め、絵本を題材にして、読解力やコミュニケーション能力を高めるための学習をしました。平成20年度は、同校の教師がアニメドールを務め、詩を題材にした学習をしました。



「読書へのアニメーション」(宇東高・附中)



「読書へのアニメーション」(宇東高・附中)

聾学校では、「読書へのアニメーション」の手法を生かした読書指導や本の紹介を行っています。大型絵本などを使い、絵に触れながらストーリーを追ったり、感想を付箋に書いて本に貼ったりしながら、児童が本に親しめるような指導の工夫をしています。

* 「読書へのアニメーション」とは、スペインのモンセラ・サルトが開発した読書指導のメソッドのこと。作戦と呼ばれる75種類の手法がある。「アニメドール」とは、「読書へのアニメーション」を統括する指導者のこと。



「読書へのアニメーション」の手法を生かした読書指導(聾校)

7 各種コンクール

「読書感想文コンクール」は、ほとんどの学校で行っている取組ですが、それ以外にも様々なコンクールや表彰を行っている学校があります。

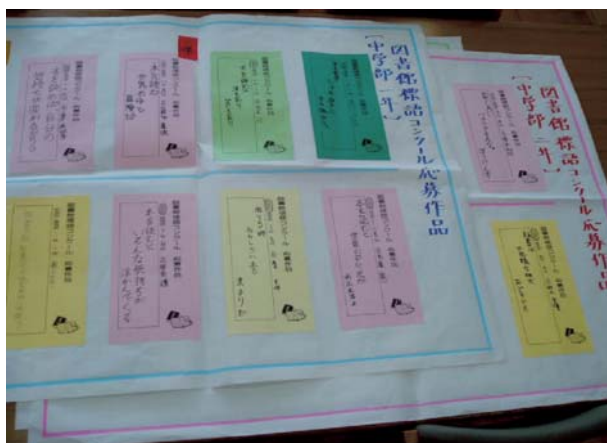
宇都宮高校では、1、2年生に対しては「推薦図書による読書感想文コンクール」、3年生に対しては「小論文コンクール」というように、内容を分けた取組をしています。

聾学校では、中等部と高等部の生徒全員を対象として、9月に「読書感想文大会」を実施しています。夏休みの宿題としての読書感想文から選ばれた入賞者に賞状が授与され、金賞に選ばれた生徒による受賞作品の発表が行われます。



読書感想文大会(聾校)

また、聾学校では、秋の読書週間に、「図書館標語コンクール」を実施しています。小学部・中学部・高等部の児童生徒から募集した作品を、食堂の前や各部の廊下などに掲示して、読書への啓発をします。入賞作品は、学校図書館内に掲示します。



図書館標語コンクールの応募作品(聾校)

8 多読賞

多読賞を設けて読書を奨励している学校について、その概略を一覧で紹介します。

学校名	基準	表彰
鹿沼東高校	50冊／年、上位20名程度	冊数に応じた図書カード
今市工業高校	年間多読賞：上位10名／年 3カ年多読特別賞	賞状、図書券
日光明峰高校	上位5名／3年間	図書券
烏山女子高校	1カ年多読賞 1年生30冊／入学～翌年2月 2年生35冊／前年度3月～翌年2月 3年生35冊／前年度3月～翌年1月 3カ年多読賞	ノートなど 図書券
のぞわ特別支援学校	上位／年	賞状、副賞
足利特別支援学校	小・中・高各上位1名／年	賞状、記念品

9 製本講習会

宇都宮女子高校では、12月に「製本講習会」(定員10名)を開いています。これに参加すると、自由研究の成果物の装丁をきれいに仕上げることができます。



製本講習会(宇女高)

10 小学校での読み聞かせ

日光明峰高校では、図書委員と有志の生徒が、学期に3回程度、近隣の小学校に出向いて、朝の読書の時間（8:15～8:30）に、低学年の児童を相手に絵本の読み聞かせを行っています。参加した生徒は、児童が熱心に聞いてくれることに手応えや喜びを感じています。読み聞かせを経験した生徒の中には、明確な意志をもって進路を選択して、幼稚園の教師になった男子生徒や、演劇や声優を目指す女子生徒がいるそうです。また、教師にとっては、日頃気付かなかつた、生徒の新たな一面を発見する、生徒理解のよい機会になっています。



小学校での読み聞かせ(明峰高)



小学校での読み聞かせ(明峰高)

小山西高校では、学期に1回程度、近隣の小学校で、業間（2時限目と3時限目の間の20分間の休み時間）を利用して、絵本の読み聞かせを行っています。読み手となるボランティアは、図書館だよりで広報して募集しています。将来の職業として「保育士」や「介護福祉士」などを志望している生徒には、特に参加を呼びかけます。平成19年度の第1回読み聞かせでは、20人が読み手として参加しました。参加者は、事前の読み聞かせ講習会で、外部講師から実技指導を受けます。この活動のために、生徒会の予算で、大型絵本や、読み聞かせの際に机に敷くテーブルクロスを購入しました。この活動は、児童に大変好評で、お礼の手紙にも素直な感謝の気持ちが綴られています。教師にとっても、生徒の新たな一面を発見する機会になっています。生徒の感想文にも成長の跡が見られ、生徒の能力を大いに引き出しています。



小学校での読み聞かせ(小西高)



小学校での読み聞かせ(小西高)



読み聞かせで使うテーブルクロス(小西高)



約250冊ある絵本コーナー(小西高)

第2回絵本読み聞かせボランティア講習会

夏休みの第2日目7月24日(火)、講師に下野市立国分寺中学校司書久野千鶴子さんをお迎えして、図書室で第2回読み聞かせ講習会が開かれました。久野さんは読み聞かせの会「ラ・コンテ」のメンバーとしての下野市の小中学校でボランティアをなさっています。また長年にわたり視覚障害者のための朗読・音訳ボランティアの会「こだま」の代表として活躍され、今年栃木県教育功労者表彰で優良団体を受賞されました。小学校高学年対象の読み方、ブックトークによる本の紹介、大型絵本の読み方など、小学校での読み聞かせの実習に向けて、さまざまなアドバイスをしてくださいました。美しく表情豊かな声でのお話はすばらしく、思わず話の中に引き込まれてしまいました。

ブックトーク

図書委員のすすめ

「光とともに…」著 ☆戸部 けいこ 2年3組 坂田 詩織

朝日がとてもきれいな日に一人の子供が生まれます。名前は光。抱っこが嫌い、目を背けるなど...最初はとまどっていたお母さんが、他の親子の様子を見て病院を転々とする中、光は「自閉症」と発覚します。

苦勞と愛情で光を一生懸命に育ててゆくお話です。「自閉症」とは何か、親や周囲はどう接すればいいかを分かりやすく漫画化してあるので、本を読むのが苦手な人でもあまり苦勞しないで読めると思います (*>ω<*)

	1期	2期	3期	4期	5期	合計
1年	146	104	96	95	112	553
2年	5	90	74	180	109	458
3年	4	88	47	27	42	208
2007年4月1日～10月26日の貸出し冊数(学級文庫は除く)						1219

ONISHI LIBRARY NEWS 108号 小山西高校図書委員会

読み聞かせボランティア講習会の模様を伝える図書館だより(小西高)

11 紙芝居、ペープサート、パネルシアター等

足利特別支援学校では、図書委員会の活動として、「読書のつどい」を春と秋の年2回開いています。催しの内容を決めることから当日の運営まで、図書委員の児童生徒が行います。平成20年度の春のつどいでは、昼休みに音楽室で、紙芝居と、図書委員が作成したペープサートを上演しました。一般の児童生徒の集会への参加は任意ですが、全校生のほとんどが参加しました。



紙芝居(足特校)



ペープサート(足特校)

*ペープサートとは、人物の絵などを描いた紙に棒をつけたものを動かして演じる紙人形劇のこと。ペープサートは和製英語で、英語ではペーパーシアター(paper theater)といわれる。

のぞわ特別支援学校では、4月と10月の年2回、小・中・高等部の図書館担当職員の企画で、「おはなし会」を開いています。大型絵本やパネルシアターを使った読み聞かせ、BGMや朗読テープを使った人形劇、ペープサートなどを取り入れて、児童生徒が興味関心をもちやすくする工夫をしています。



パネルシアター(のぞわ特校)



大型絵本の読み聞かせ(のぞわ特校)



パネルシアターのキット(のぞわ特校)



手作りのペープサート(のぞわ特校)

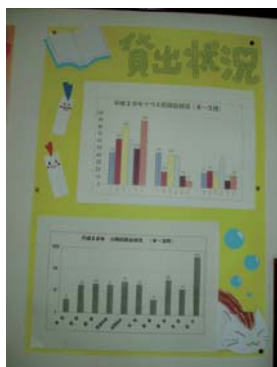
12 貸し出し状況の広報や掲示

多くの学校で、図書の貸し出し状況を掲示したり図書館だよりで知らせたりして、読書の啓発に努めています。

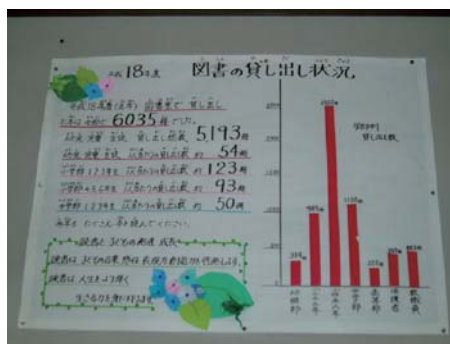
今市工業高校では、月ごとの貸し出し上位者を、ランキング形式で紹介しています。

大田原女子高校では、クラス別の貸し出し数の累積をグラフ化して掲示しています。

聾学校では、学部別の貸し出し状況をグラフ化したものと、個人の貸し出し状況をランキング形式にしたものを掲示しています。



「貸出状況」(大女高)



「図書の貸し出し状況」(聾校)

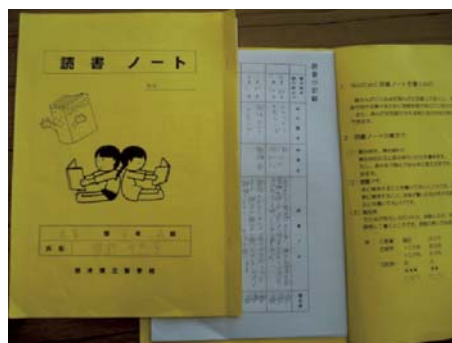


「本をたくさん借りている人」(聾校)

13 読書ノート・読書カード

聾学校では、「読書ノート」で読書の記録を付けさせて、読書の習慣化を図っています。ノートには、読書目標、読んだ本、感想、☆印や顔文字などで満足度を表記する欄があります。

足利特別支援学校では、「読書10冊ラリーカード」というカードで、読書の記録を付けています。1枚のカードには、書名と読み終わった日の記入欄が10冊分あります。小さな文字を書くことが困難な児童生徒のために、大きさの違うカード(A4版とB4版)を用意して、自由に選択できるようにしてあります。記入を終えたカードは、廊下の壁面に重ねて貼っておき、年度末に集計して多読賞の資料とします。



読書ノート(聾校)



読書10冊ラリーカード(足特校)

14 図書委員会の合宿

宇都宮女子高校の図書委員会では、委員の資質の向上を図るとともに、委員同士の親睦を深めるために、1泊での合宿を行っています。合宿を通して、宇都宮女子高校の学校図書館や資料の検索に関して考えます。また、「レファレンス能力」、「問題解決能力」、「論理的思考力」、「プレゼンテーション能力」、「協調性」などを高めるために、ディベートを行います。



ディベート(宇女高)

15 図書委員会の会報

宇都宮女子高校の図書委員会は、会報『書苑』を毎年発行していて、平成19年度で第66号になりました。毎号140ページに及ぶ、読み応えのある会報です。



『書苑』(宇女高)

『書苑66』の主な内容(目次から抜粋)

- ・委員長対談「前期委員長VS後期委員長+委員長補佐」
- ・『ペーパー書苑』を迎える(平成一九年二月号〜平成二〇年一月号)年間発行紙面 縮刷版
- ・ペーパー書苑特別企画―今、この人に聞く―21世紀に求められる力 翻訳 津田塾大学教授 早川敦子先生
- ・特集―日本語
- ―接客の中で生きる日本語―宇都宮東武ホテルグランド「気持ちから生まれる言葉でおもてなし」
- ―ここをこめて―NHK宇都宮放送局「思いやりの心 ×楽しい会話×幸せ」
- ―言葉の変化とは―宇都宮大学教育学部「場の雰囲気と相手を不快にさせないことが大切せ」
- ・野城 充先生書齋訪問記
- ・私の薦める一冊
- ・図書委員会活動報告
- ・和子の部屋
- ・たくさんよんだのだあれ?
- ・平成一九年度 貸出統計
- ・平成一九年度 読書感想文コンクール